

人が輝き 活力ある街 豊田

ひあて こうすけ 日當 浩介

発行日：平成 29 年 1 月吉日

〒473-8501

豊田市高丘新町天王1番地

TEL:0565-54-1190

FAX:0565-54-1206

発行：ひあて浩介後援会

市政レポートVOL.7



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、諸活動に対しご支援・ご協力頂きありがとうございました。

我が国は人口減少・超高齢化社会といった過去に経験したことの無い時代へ突入しました。豊田市におきましても 2040 年を長期目標と定め、まちづくりの基本となる「第 8 次総合計画」のスタートに向け計画の策定を進めています。これからの豊田市の将来をどのように描き、次の世代に繋いでいくのか、行政に携わるものとして責務を果たせるように取り組んで参る所存であります。結びに、皆さまにとって希望に溢れ充実した一年であり、幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。

平成 28 年 1 2 月定例議会が開催されました！

12 月定例議会では、議案 34 件、同意 1 件、報告事項 2 件、請願 3 件が提出され、慎重・審査のうえ、全議案に賛成し請願に対して不同意とし可決しました。その内容の一部をご報告いたします。

豊田市の将来に向け市役所組織体制を改編！

議案 104 号 豊田市事務分掌条例の一部を改正する条例（16 部局→17 部局体制に変更）

この条例はいわゆる組織改編です。豊田市が直面する課題①**超高齢化社会への対応** ②**産業の強靱化** ③**暮らしがよし・訪れてよしの魅力創出を重点施策**として、急速に進む超高齢化社会の進展への対応や、本市のこれからの発展の可能性の実現に向けて、市役所の組織を見直します。

特質した変更点：生涯活躍の事業を進める「生涯活躍部」、福祉に特化した「福祉部」、ラグビーワールドカップ 2019 など国際大会を推進する経営線戦略室を「経営戦略部」とし強化する。

小中学校のトイレ等を再整備します！

＜保全改修工事一覧＞

議案 117 号 豊田市一般会計補正予算

国の補正予算にて小中学校の保全改修およびトイレ再整備等を前倒しして実施します。

1. 保全改修事業（右表参照）

保全改修：防水・教室照明の LED 化・手すり設置等

トイレ再整備：便器の洋式化、床の乾式化、壁・

天井改修（照明含む）、給排水配管更新

※猿投台中トイレ再整備は H28 事業の繰越

参考）この工事により全小中学校の 1 系統のトイレの再整備が完了します。

2. バリアフリー化整備事業

整備内容：エレベーター設置、多目的トイレ設置、

構内の段差解消、保健室等へのシャワー設置

実施校：東広瀬小学校、小清水小学校

		学校名	保全改修	トイレ再整備
小学校	H29前倒し	加納小	○	○
		若林西小	○	○
		堤小	○	○
		駒場小	○	○
		西広瀬小	○	○
		五ヶ丘東小	○	○
		石畳小		○
		道慈小		○
		御蔵小		○
	九久平小		○	
	H28繰越し	飯野小	○	
		瀧脇小		○
		上鷹見小		○
		則定小		○
井上小			○	
中学校	H29前倒し	猿投台中	○	○ ※
		石野中	○	○
		足助中	○	○
		小原中	○	○
		崇化館中		○

名鉄三河線豊田-名古屋を40分以内で結びます！

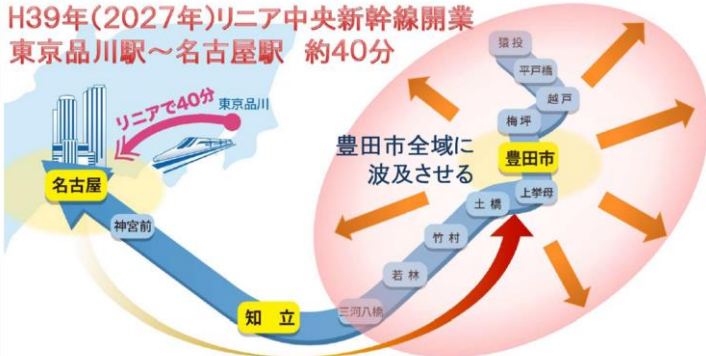
名鉄三河線整備促進期成同盟会が設立され、オール豊田で名鉄へ要望！

公共交通の利便性向上に向けた機能強化など、市民が安全に安心して移動できる環境を構築することは不可欠です。このような中、平成29年リニア中央新幹線開業が決まり東京品川から名古屋間が40分で結ばれますが、**県内の主要都市**で名古屋駅までの鉄道移動時間が**40分を超えているのは豊田市のみ**です。リニア中央新幹線の大きな波及効果を逃がさないために、このたび名鉄三河線整備促進期成同盟会が設立され、**三河線の整備促進**と豊田市の顔となる**中心市街地の整備**を着実に**進める**ことが決まりました。今後、**アクセス向上とまちの魅力の両輪**をもって、豊田市のポテンシャルアップを図っていきます。

課題:中央リニアの効果を波及させるため40分圏内の実現が急務

対策:2027年までに鉄道アクセス整備を推進

H39年(2027年)リニア中央新幹線開業
東京品川駅~名古屋駅 約40分



Q1:3つのルートの中で何故、三河線ルートなのか？

A1:乗車率が5年間で13.7%増加し、また乗車人数が最も多いため



この中で最も時間短縮を優先的に取り組む路線は

名鉄三河線

Q2:現在の名古屋から県内の各都市への所要時間は？

A2:一番距離が遠い、豊橋市より時間が掛かっている。

【名古屋駅までの移動時間】



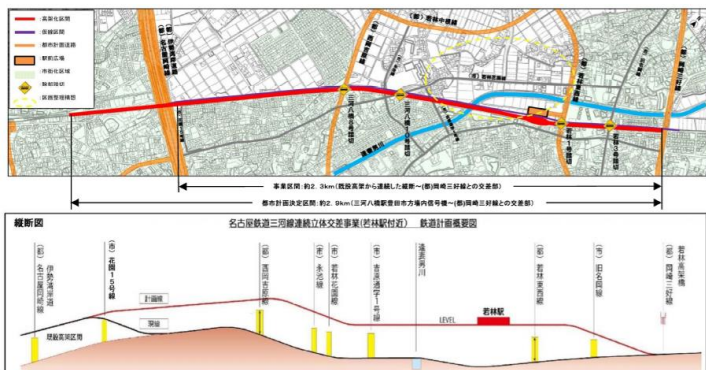
Q3:移動時間を短縮させる方法は？

A3:複線化し高速特急が運行できるように路線を整備する。



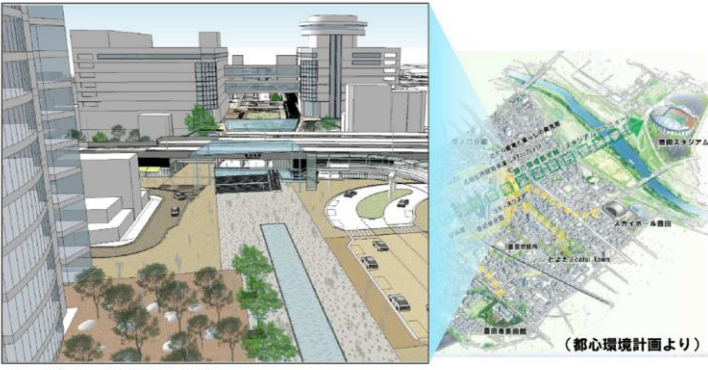
Q4:複線化・本数の増加など路線整備により懸念される踏切での渋滞対策は？

A4:三河八橋から続く高架を若林駅周辺まで延長し5の踏切がなくなります。



Q5:豊田市駅舎は古く、使い勝手も良いとはいえない。今後どの様になるのか？

A5:都心環境計画に基づき、豊田市駅舎も利用しやすい拠点となるよう改修・整備を進める。



5回目となる一般質問を行ないました！

大項目 - 市民とともに進める生活環境対策への取組 -

平成 28 年 12 月議会にて一般質問を行いました。今回は、市民生活に直結する生活環境の中から大きく 3 点について質問を行ないました。特に「**不良な生活環境を解消する条例**」制定後の進捗状況など、昨年に提言した内容の進捗について確認を行なうとともに、「**道路の植栽のあり方など**」について**新たな提案**も行ないました。

質問しました内容を一部抜粋してご報告させていただきます。



ごみ屋敷条例制定後の状況について！

Q: 相談の中に早急に措置や行政代執行が必要なごみ屋敷条例に該当する事案はあるのか？

A: 条例に従い即座に措置を必要とするものはない。しかし、支援を行なわない場合、悪化する恐れのある案件はある。

Q: 相談された事案の対策の進捗状況は？

A: 相談件数 101 件に対し、36 件が解消した。中には自治区、近隣住民などの協力による一斉清掃で解決したものもあり、**解消には自治区や近隣住民の協力が有効である。**

Q: 相談依頼者や自治区への報告は？

A: 原因者の個人情報に配慮しつつ、**情報提供を行っていく。**また、解消に向けても連携を図る。

Q: すでに近隣住民に影響が出ている相談に対しての対応状況は？（進捗の情報提供を！）

A: 関係機関と連携し自ら解消できるよう福祉的支援を行なっている。**早急な対策を望まれていることは承知しているが、理解が得られない、自ら解消できないなど長期化する場合もある。**必要に応じ条例に基づく対応も視野に入れ自治区等の協力も得ながら進めていく。



誰もが快適な分煙社会への取組！

Q: 努力義務が課せられていない屋外での受動喫煙防止に対する考えは？

A: 努力義務のない屋外でも受動喫煙の可能性はある。**受動喫煙防止対策を管理者と協議し調整する。**



Q: 受動喫煙という観点から見た電気加熱式たばこの取り扱いは？

A: たばこは吸っただけ害があるという原則のもと、今後の研究結果を踏まえ厚生労働省の判断のもと**対応する。**

豊田市駅から豊田スタジアムアベニューの路上禁煙エリアを設定し快適空間の整備を行なうことになりました！

市民と協力した道路等の不具合解決への取組！

Q: 中央分離帯の植栽の繁茂・雑草の温床や、対向車の確認を妨げる危険状態、ごみのポイ捨ての横行など、本来の目的と異なる実態となっている植栽の**今後のあり方**をどう考えるか？

A: 定期的な剪定、除草で経費も増大している。交通安全上問題のない所や、また新たな道路整備において、**緑化推進地区以外の場所はフェンスとする方向で進める。**

Q: 千代田区など分煙を推進するため事業者施設への補助を行なっているが本市の考えは？

A: 現時点において、**補助は考えていない。**

Q: 昨年提案した豊田市駅周辺など人が集まる場所での路上禁煙・分煙対策の検討状況は？

A: 来訪者のへおもてなしの取組の1つとして、分煙対策の配慮も必要。今後、**路上喫煙の規制を行なう一方で、喫煙所の整備・誘導など対策に取り組む。**



Q: FixMyStreet（市民が発見した不具合を写真で情報提供できるツール）をはじめとした**アプリ活用**の考えは？

A: **他市の事例などを参考**

に、アプリ導入に向けたガイドラインの策定を行なっている。庁内の合意形成を図り、**導入・活用に向け取り組む。**



第51回オールアイシン労使政策制度フォーラム開催！

子どもを育てやすい環境づくりに向けて！

平成28年11月23日（水）安城市文化センター「マツバホール」にて、第51回オールアイシン労使政策制度フォーラムが開催されました。毎回、現代社会が直面するさまざまなテーマを取り上げていますが、今回のテーマ「みんなで考えよう超少子化問題」～魅力ある子育て社会を目指して～と題し、中京大学現代社会学部 教授 社会学博士の松田茂樹教授講師としてお招きし開催されました。私も組織内議員を代表してパネラーを勤めました。行政が行なっている子育て支援や課題について、近隣市と豊田市の取組について報告を行ないました。



挨拶をされる神谷中央執行委員長

労働力人口の減少や女性の社会進出など、時代の変化に順応し子育てを支える環境も変化しなくてはなりません。労使・地域・行政・家族が一体となり、子どもを産み育てる家庭への支援・協力を行なっていくことを共有することが出来ました。

第1部

オープニングガイダンス「超少子化問題とは」

基調講演「なぜまだ結婚、出産しやすい国にならないのか」

第2部

パネルディスカッション「魅力ある子育て社会を目指して」



基調講演をして頂いた松田教授



コーディネーターの青山悦子様



行政の取組の一部を紹介しました。



市議の代表としてパネラーを務めました。



会場の皆さんへの質問



会場からの子育てに対する意見



子育てのポイントをフリップコメントに

豊田市の問題・課題の解消と更なる発展に向けて！

トヨタ系会派全員で国に要望・陳情活動を行ないました！

平成28年11月1日（火）に、トヨタ系議員で構成する会派『市民フォーラム』で国への要望と陳情活動を行ないました。特に、国土交通省に対しては、市内南北バイパスやR301号、また伊勢神トンネル改良などラグビーワールドカップ2019を目標にした道路整備の促進。財務省へは、国の税制改正による法人市民税の一部国税化が及ぼす本市の影響の度合いについて。また、地方自治体の努力が報われる制度改正が、今後進むよう要望を行ないました。

